

各委員からの主な発言



北九州 畠山委員

- ・工務職場における教育問題
- ・要員問題について
- ・退職時について 誕生月から年度末への統一について
- ・乗務員区の年休所得問題について



北九州 糸山委員

- ・各職種、職場の将来像。要員確保の具体的な要求を求め
- ・嘱託再許雇用者の労働条件改善を求め。短日数制を選択しない場合の手当等の要求について
- ・組織再編について



博多 岩田委員

- ・エリア限定社員制度のよる転勤問題について
- ・香椎線における、自動運転の問題



博多 佐藤委員

- ・ダイヤ改正について
- ・要員問題について
- ・24春闘について 労働条件改善署名について
- ・組織拡大について「ツナグ」の学習指導について



博多 香田委員



長崎 島田委員

- ・教宣活動の重要性について
- ・若い力の活用について

- ・駅職場における新人教育の在り方について
- ・駅の要員問題について
- ・レクリエーションを活用した組織拡大について



鹿児島 黒木委員

- ・ダイヤ改正の要求と交渉経過について
- ・単日数制度導入における要員問題について
- ・地域限定社員制度の問題点について
- ・地方交通線の存続に対する九州本部の指導について

●労働講座

＜ローカル線の活性化と再生を考える＞



北陸地本 太田書記長

昨年に「地域公共交通活性化再生法」が施行されたことから地方ローカル線の見直しが加速されることが予想される。ローカル線が車を持たない人の生活や地域を訪れる観光・ビジネス客の公共交通としての重要な役割を果たしていることを認識する事が大事で、赤字を理由に廃止ありきでいいのかと訴えました。また労働組合として地域と共闘しローカル線の活性化にむけ取り組んできた成果を報告されました。富山市は JR 西日本と協力して高山線の利便性向上の為、本数増便や新駅の設置や駐輪場の整備などを行った結果、乗車人数は31%増加した事。また、北陸線ではコストカットの為、列車本数の削減、無人駅の拡大を行っていたが、国労も参加する「公共交通をよくする富山の会」を発足しシンポ・視察調査・アンケート・県や沿線自治体に要請を行い、公共交通をよくするために活動し、自治体による駅員配置をさせてきたこと。富山港線では、JRの継続は止められなかったが、路面電車化によって JR からの無償譲渡や費用負担を勝ち取り、会が要望していた本数の増便や新型車両の導入などにより平日で2.1倍、休日で3.4倍に増加している実態が報告されました。ローカル線もやり方次第・工夫次第で活性化は可能な話であり、九州でも今後地方ローカル線が問題となってくるだけに、参考となる学習会でした。地方ローカル線存続に向けて奮闘しましょう！

各委員からの主な発言



北九州 畠山委員

- ・工務職場における教育問題
- ・要員問題について
- ・退職時について 誕生月から年度末への統一について
- ・乗務員区の年休所得問題について



北九州 糸山委員

- ・各職種、職場の将来像。要員確保の具体的な要求を求め
- ・嘱託再許雇用者の労働条件改善を求め。短日数制を選択しない場合の手当等の要求について
- ・組織再編について



博多 岩田委員

- ・エリア限定社員制度のよる転勤問題について
- ・香椎線における、自動運転の問題



博多 佐藤委員

- ・ダイヤ改正について
- ・要員問題について
- ・24春闘について 労働条件改善署名について
- ・組織拡大について「ツナグ」の学習指導について



博多 香田委員



長崎 島田委員

- ・教宣活動の重要性について
- ・若い力の活用について

- ・駅職場における新人教育の在り方について
- ・駅の要員問題について
- ・レクリエーションを活用した組織拡大について



鹿児島 黒木委員

- ・ダイヤ改正の要求と交渉経過について
- ・単日数制度導入における要員問題について
- ・地域限定社員制度の問題点について
- ・地方交通線の存続に対する九州本部の指導について

●労働講座

＜ローカル線の活性化と再生を考える＞



北陸地本 太田書記長

昨年に「地域公共交通活性化再生法」が施行されたことから地方ローカル線の見直しが加速されることが予想される。ローカル線が車を持たない人の生活や地域を訪れる観光・ビジネス客の公共交通としての重要な役割を果たしていることを認識する事が大事で、赤字を理由に廃止ありきでいいのかと訴えました。また労働組合として地域と共闘しローカル線の活性化にむけ取り組んできた成果を報告されました。富山市は JR 西日本と協力して高山線の利便性向上の為、本数増便や新駅の設置や駐輪場の整備などを行った結果、乗車人数は31%増加した事。また、北陸線ではコストカットの為、列車本数の削減、無人駅の拡大を行っていたが、国労も参加する「公共交通をよくする富山の会」を発足しシンポ・視察調査・アンケート・県や沿線自治体に要請を行い、公共交通をよくするために活動し、自治体による駅員配置をさせてきたこと。富山港線では、JRの継続は止められなかったが、路面電車化によって JR からの無償譲渡や費用負担を勝ち取り、会が要望していた本数の増便や新型車両の導入などにより平日で2.1倍、休日で3.4倍に増加している実態が報告されました。ローカル線もやり方次第・工夫次第で活性化は可能な話であり、九州でも今後地方ローカル線が問題となってくるだけに、参考となる学習会でした。地方ローカル線存続に向けて奮闘しましょう！

各委員からの主な発言



北九州 畠山委員

- ・工務職場における教育問題
- ・要員問題について
- ・退職時について 誕生月から年度末への統一について
- ・乗務員区の年休所得問題について



北九州 糸山委員

- ・各職種、職場の将来像。要員確保の具体的な要求を求め
- ・嘱託再許雇用者の労働条件改善を求め。短日数制を選択しない場合の手当等の要求について
- ・組織再編について



博多 岩田委員

- ・エリア限定社員制度のよる転勤問題について
- ・香椎線における、自動運転の問題



博多 佐藤委員

- ・ダイヤ改正について
- ・要員問題について
- ・24春闘について 労働条件改善署名について
- ・組織拡大について「ツナグ」の学習指導について



博多 香田委員



長崎 島田委員

- ・教宣活動の重要性について
- ・若い力の活用について

- ・駅職場における新人教育の在り方について
- ・駅の要員問題について
- ・レクリエーションを活用した組織拡大について



鹿児島 黒木委員

- ・ダイヤ改正の要求と交渉経過について
- ・単日数制度導入における要員問題について
- ・地域限定社員制度の問題点について
- ・地方交通線の存続に対する九州本部の指導について

●労働講座

＜ローカル線の活性化と再生を考える＞



北陸地本 太田書記長

昨年に「地域公共交通活性化再生法」が施行されたことから地方ローカル線の見直しが加速されることが予想される。ローカル線が車を持たない人の生活や地域を訪れる観光・ビジネス客の公共交通としての重要な役割を果たしていることを認識する事が大事で、赤字を理由に廃止ありきでいいのかと訴えました。また労働組合として地域と共闘しローカル線の活性化にむけ取り組んできた成果を報告されました。富山市は JR 西日本と協力して高山線の利便性向上の為、本数増便や新駅の設置や駐輪場の整備などを行った結果、乗車人数は31%増加した事。また、北陸線ではコストカットの為、列車本数の削減、無人駅の拡大を行っていたが、国労も参加する「公共交通をよくする富山の会」を発足しシンポ・視察調査・アンケート・県や沿線自治体に要請を行い、公共交通をよくするために活動し、自治体による駅員配置をさせてきたこと。富山港線では、JRの継続は止められなかったが、路面電車化によって JR からの無償譲渡や費用負担を勝ち取り、会が要望していた本数の増便や新型車両の導入などにより平日で2.1倍、休日で3.4倍に増加している実態が報告されました。ローカル線もやり方次第・工夫次第で活性化は可能な話であり、九州でも今後地方ローカル線が問題となってくるだけに、参考となる学習会でした。地方ローカル線存続に向けて奮闘しましょう！